





第13回 がん看護フォーラム

看護倫理の基本 ～倫理原則について～

 社会福祉法人
  聖隷福祉事業団
  総合病院
  聖隷三方原病院
 がん看護専門看護師 佐久間 由美

1

倫理とは

人倫の道 実際道徳の規範となる原理 道徳

人倫：人間 人々 人類
 道徳：人の行うべき道 行為の善悪を判断する基準として
 一般に承認されている規範の総体 法律のような強制力を伴うものではなく、個人の内面的な原理
 規範：てほん 判断または行為などの拠るべき手本 基準
 原理：ものの拠って立つ根本法則 根本にある決まり 根源的なもの

人の行うべき行為の善悪の判断において根拠とするべき基準となるもの
 人間活動の手本となるよう、善悪・正不正・為すべきこと、為すべからざることを
 自分自身の中で判断するための拠りどころ

2

善悪 正不正 しても良いこといけないことを
自分自身の中で判断する基準となるもの

↓

個人の価値が大きく影響する！
 どんな価値であっても一度その人の価値体系に組み込まれて
 しまうと、その人の**選択を左右する動機となり得る**
 価値：その人が何を真実として信じているかを代表する信念
 (Rokeach 1973)
 選択や決定を動機づける価値について意識していないことが多い

3

価値についての理解を深める

- ・文化的価値
ある文化を有する集団で受け入れられた優勢な基準
(例 個人VS集団 運動VS瞑想)
- ・宗教的価値
人の生死や死後の重要性についての信念に影響を与えるもの
- ・個人的価値
個人が人生をどのように過ごし、どのように行動すべきかを導く
信念 態度 理想
- ・専門的価値
専門集団によって合意され支持されることが期待されている究極的基準

4

双方の価値を考慮する

どんな価値であってもその人の価値体系に一度組み込まれてしまうと
その人の選択を左右する動機となりうる

↓

自分自身の価値について理解する
 なぜ・・・と思ったら他者の価値に思いをはせ尊重してみる

5

正当な判断をする（倫理的行為を保証する）ために・・・

価値について理解を深める
 道徳的選択や行為を保証できるものを知る
 (規則・原則 理論 倫理綱領など)

6

倫理原則とは

古代から多くの考え方の中にある人としてあるべき規則とされているもの
人としての守るべきとされている考え方をまとめたもの

思想家によって体系化されたものキリスト教やイスラム教など宗教思想の中で
体系化されたものなどがある→原則はこれらの中に共通に含まれている

(医療倫理学の方法 2008)

イエス・キリスト

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい」

孔子

「己の欲せざるところ、他に施すことなかれ」

ユダヤ教

「あなたにとって好ましくないことをあなたの隣人に対してするな」 等

7

倫理原則とは

道徳的意思決定や道徳的行為を導き専門職の実践の価値判断形成の中心となるもの

(Beauchamp&Childress 2001)

原則

具体的な内容を含まない 抽象的で規範的 (行為などの拠るべき手本となるよう) な命題 (何らかの主張をしている文)

例: 危害を与えてはならない

規則

具体的な内容を含んだ規範的 (行為などの拠るべき手本となるよう) な命題 (何らかの主張をしている文)

例: 廊下を走ってはならない

8

倫理原則とは

Beauchamp&Childress : 医療倫理の4原則
自立尊重 無危害 善行 正義

Fry & Veatch : 看護実践にとって重要な倫理原則
善行と無害 正義 自律 誠実 忠誠

など

9

善行と無害の原則

善行: 良いことを行う

利益が得られるように支援すること

利益や幸福をもたらすこと/尊厳が守られることを推進する

無害: 害を回避する (リスクを防ぐ 減らす)

身体的、心理的外傷をもたらすことや道徳的権利を意図的に妨げることを防ぐ

抗がん剤使用 身体拘束

10

正義の原則

公平 (偏らざえこひいきがない) に取り扱う

全ての人々にヘルスケア資源を量的に等しく供給することは不可能

→ニーズに焦点を当て資源を公平に分配する

→自分がケアしている人々にとって何が適切かつ公平な

資源の分配なのかを決定する

11

自律の原則

自己決定・選択できることを尊重する

→身体的・精神的状況や背景など相手に合わせた配慮をする

→理解できる情報提供の仕方を工夫する

→受け入れられるための支援を行う

→個人的な価値観や信念、自由を尊重する

自律した個人として尊重する

年齢 発達 認知の状況などへも配慮する

12

自律の原則

● 意思決定の4つの構造を意識して支援する

- ・ 実現することができる選択肢を選び、**それぞれの選択肢のメリットとデメリットがわかる**
- ・ ある選択肢を選ぶことで**生じる結果を予測する**
- ・ 選択肢の中で、**効果が最大になるもの**を選択する
- ・ 意思決定する過程の中で、常に**価値観**を大切に

看護実践の倫理第2版 倫理的意決定のためのガイド

13

誠実の原則

嘘を言わない

真実を告げる

文化的に熟知した方法を持って行う

(患者の自律が最優先 家族と一緒に 誰から聞くか・・・などを考慮する)
但し、**患者の希望を打ち砕かないように告げる**ことが重要
(良くないニュースの伝え方 周囲の支援体制 等を考慮する)

知らない権利を守る

代理決定者を決める 何をどこまで知りたいかを決める 等

14

忠誠の原則

相手が心を注いでいることに対して誠実でありつづける

大切にしているものを尊重する など

相手に心を寄せ信頼関係を築く

秘密や約束を守る

第三者の福利が危険にさらされる場合などは秘密を破ることを許容する場合もある (虐待 感染症報告 など)

15

倫理的ジレンマ

2つの主張や考えに**いずれも意味があると感じ**

どちらかに決めなければ事が進まないにもかかわらず

2つの状態の板ばさみになって決めかねる状態

いずれにも意味がある・・・

どちらも原則に則った考え方である

原則に則った考え方なのに、対立して決められない!

16

倫理的ジレンマ

そんなときどのように考え

対応するのか・・・はこの後お話しがあります

17

まとめ

・看護倫理とは「看護師の行うべき行為の善悪の判断において根拠とするべき基準となるもの/看護活動の手本となるよう、善悪・正不正・為すべきこと、為すべからざることを自分自身の中で判断するための拠りどころである

・看護師として正当な判断（倫理的行為）を保証するためには、価値についての理解を深め、道徳的選択や行為を保証する倫理原則などを知る必要がある

・看護倫理において拠り所となるのは善行と無害 正義 自律 誠実 忠誠の原則が重要である

・倫理的なジレンマとは2つの主張が**いずれも原則に則った、意味のあるもの**なのに**対立してしまい、決めかねている状態**である

18